



norari オンライン編集会議



**コロナ禍でも
のらり
農楽里出します！**

新型コロナウイルスの感染拡大により、「新しい生活様式」での日常が続いています。農楽里についても、特集テーマ等を検討する編集会議が「三密」や「人の移動」を伴うことから開催できず、記事作成に不可欠な取材活動も自粛することとなりました。

記事の作成が難しくなったものの、春夏秋冬、途絶えることのなかった農楽里の発行を継続するため、Web会議ツール「Zoom」を使って、県内の各総合支庁を繋ぎ、初めてのオンライン編集会議を開催しました。編集方法の確認や記事内容の検討を行い、6月の全国的な移動制限の解除後、感染症リスクに配慮したかたちで取材活動の再開に漕ぎ着けました。

本号では、各総合支庁の編集委員が過去の記事の中から、現在が気になる活動を取り上げて、その「いま」を紹介します。

農楽里編集委員が気になる過去の注目記事

以前紹介したあの地区では、新型コロナウイルスにも負けずに頑張っています！

最上総合支庁推薦！

イケメンとトマト
メンズ農業

トマト栽培が盛んな大蔵村には、栽培だけでなく農業の魅力発信にも取り組む「いけめん」たちがいます！ 新たな仲間を加えながら地域の農業をますます盛り上げる、若手農家グループ「メンズ農業」の今をお届けします。

庄内総合支庁推薦！

かねあい
家根合地区

メダカ保全活動

田んぼには様々な生き物が生息しています。ほ場整備の工事をきっかけに、地域ぐるみで田んぼのメダカを守る活動を続けている庄内町家根合地区。環境大臣表彰も受けた取り組みをご紹介します。

2014 春号
Vol.12



2016 夏号
Vol.21



2012 秋号
Vol.6



2018 夏号
Vol.29



村山総合支庁推薦！

尾花沢すいか

山形県を代表する農産物の一つで、県内生産量の9割を占めるのが「尾花沢すいか」です。前回の取材から2年足らずですが、新しい加工品を開発したり、新技術の導入を進めたりと、日々進化を続けている尾花沢すいかの今をご覧ください。

置賜総合支庁推薦！

ぶどう苗木の里

いさざわ
伊佐沢

伊佐沢のぶどう苗木生産の歴史を紹介した本記事から8年が経ち、ぶどう苗木の里は転換期を迎えています。

今回は接ぎ木技術を継ぎ、伊佐沢の未来を託された若手農家を新たに取材しました。

気になる記事は次のページから！